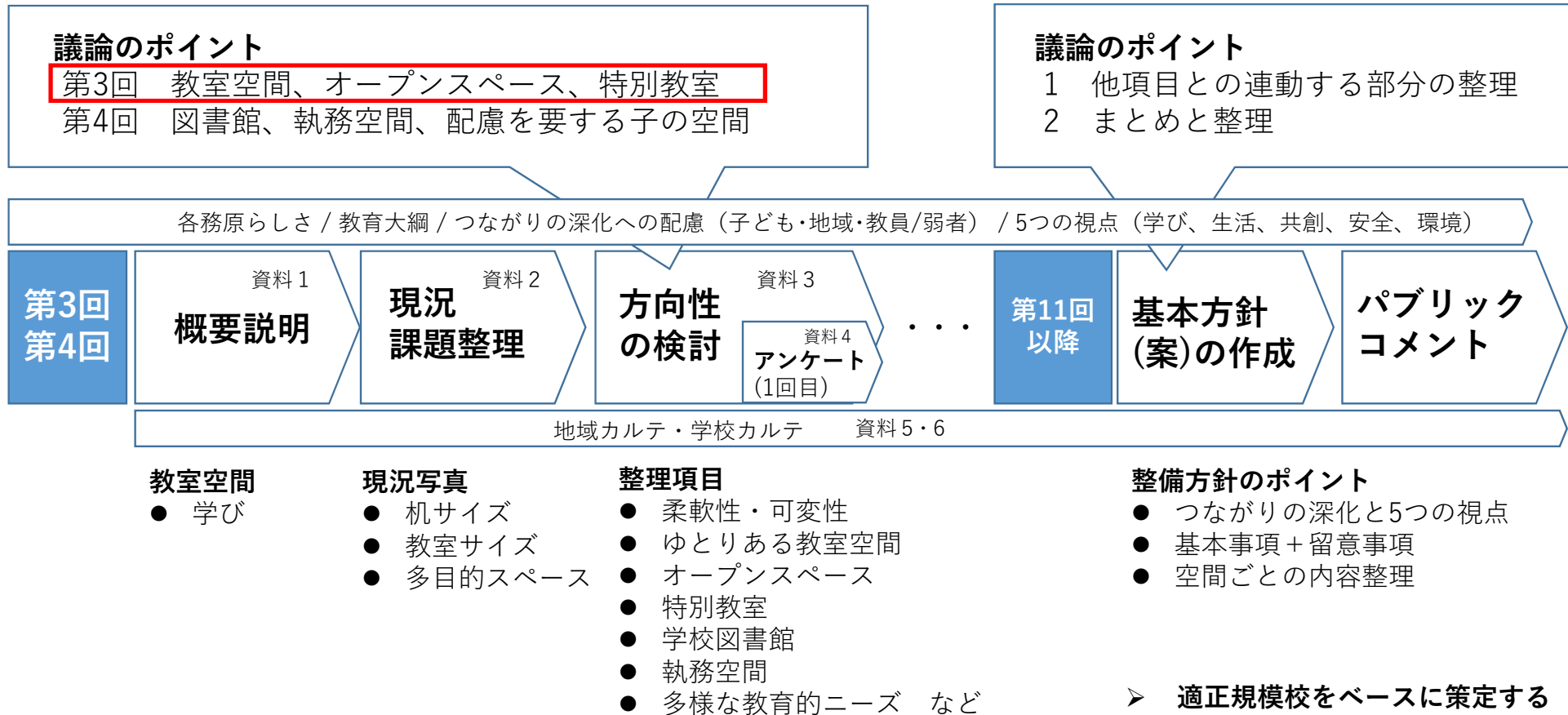


## ➤ 全体の議論の流れ・本日の議論のポイント



※ここに示すものは概念図のため、検討フローについては第2回各務原市学校建替基本方針策定委員会：資料5（改訂2）を参照のこと。

**学び** 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現する

GIGA スクール構想による1人1台端末の日常的な活用に伴う個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、その基盤となる学習空間も、画一的・均質的なものから、柔軟で創造的なものに転換していく必要がある。

このため、学び・活動の変化に柔軟に対応していくことや、教室・教室周辺の空間の改善・充実、様々な活動の場となる教室の有機的な連携・分担、設備や家具の工夫、執務空間の改善・充実を図るなど、多様な学びの姿に柔軟に対応できる創造的空間の整備を進めていくとともに、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた施設環境の整備を推進する必要がある。

- i) 変化に対応する柔軟性・可変性のある空間構成
- ii) 多様な学習活動を展開できる教室空間
  - ii-1) 1人1台端末環境等に対応したゆとりのある教室の整備
  - ii-2) 多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応
  - ii-3) ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用
- iii) 様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開
- iv) 読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館の整備
- v) 設備や家具の工夫による多様な学習活動の展開・教室環境の充実
- vi) 学校における働き方改革を推進し、パフォーマンスを最大化するための執務空間
- vii) 9年間を見通した義務教育を支える施設環境 (留意事項として関係する可能性あり)
- viii) ~~特色・魅力ある高等学校づくりを支える施設環境~~ (非該当)
- ix) 多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応

第3回策定委員会  
での検討内容